

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	特別養護老人ホームの個室に入居する利用者の属性データ収集と個室への物品の持ち込みに関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
【研究対象者】 研究対象施設の全入居者を研究対象者とする。<u>※研究対象者の年齢は 65 歳以上とする。</u> 特別養護老人ホーム ささづ苑 本館（富山県）：89 名 特別養護老人ホーム ささづ苑 かすが（富山県）：29 名 【対象期間】 本研究の実測調査は倫理審査承認後、<u>2026 年 7 月～2026 年 10 月</u>までに実施します。研究対象者一人あたりの居室内の実測、写真撮影の所要時間 15 分程度を予定しています。分析を含めた本研究の予定研究期間は、倫理審査承認後から 2027 年 3 月 31 日までとなります。 【研究責任者】 新潟大学工学部工学科 助教 宮内 杏里	
③概要	
この研究は、あなたの属性データ（年齢、性別、年齢、入居年月日、介護度、ADL、家族の有無とその近居/遠方、入居前の入院、入所状況）を施設専門職員より情報提供を受けることと、居室およびその周辺において、持ち込まれた私物の種類、配置、量などを実測・写真記録を行います。 研究に協力するかどうかは、あなたの自由意志で決めていただけます。また、いったん研究協力に同意された場合でも、写真や実測データなどの情報の保管期間中ならいつでも取り消すことができますので、この文書の最下欄「④お問い合わせ先」に記載の研究代表者にご連絡ください。その場合は、採取した写真や実測データなどの情報の結果を廃棄し、それ以降は本研究のために用いることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、その結果を廃棄できないことがあります。研究の参加の有無に関係なく、研究代表者、研究分担者と気まずくなったり、あなたが不利益な対応を受けることは決してありません。	
④申請番号	2026-0040
⑤研究の目的・意義	特別養護老人ホーム(以下、特養)は、2002 年以降の制度改正により、個人の尊厳と生活の継続性を重視した「小規模生活単位型（ユニットケア）」への移行が推進され、多床室の個室化が図られてきた。これはプライバシーを確保することにより、住まいとしての豊かさを追求する建築的な転換であった。他方、近年の COVID-19 流行以降は、感染症対策やプライバシー確保を主目的とした多床室の個室化改修（準個室化を含む）も急速に進んでいる。個室化を促す社会的背景や設計意図は異なるが、特養の入居者居室は従来の多床室から個室への移行期にある。既往研究では、施設内に入居者自身が自らの居場所を見出すことができる場を設けることが肝要であると指摘される。経済的合理性との調整を余儀

	なくされる近年の個室化改修においても、個人領域の形成を許容できる空間の質が十分に担保された施設となるよう計画されるべきである。 本研究は、富山県に立地する2つの特別養護老人ホームを研究対象施設とする。一つは、2023年に個室化改修された。もう一方は2017年開設当初から小規模ユニット型ケアを採用し、居室の全室個室化と中間領域の積極的に配置された平面計画となっている。居室内の私的なものの持ち込みは、入居者の生活の質と深く結びついていることが既往研究で明らかにされている。本研究ではこれを援用し、両施設の個室内部およびその周辺における「物の持ち込み（私物）」の状況を実測・記録する。実際の私物の種別と配置から入居者の住みこなし状況を把握し、入居者の主体的生活の持続性や尊厳を維持する個室化改修計画を提案することを本研究の目的とする。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	調査により得られたデータは研究・教育の目的以外に使用しません。 本研究は、卒業研究、修士論文、日本建築学会の学術誌・学術講演会、Design シンポジウム等で発表する予定です。いずれの場合においても、個人情報（名前や電話番号など）は公表されません。 また本研究によって二次的な結果や偶発的知見を得ることはありません。他の機関へ提供する可能性もありません。
⑧利用または提供する 情報の項目	本調査は、以下の調査を実施する研究です。 1) 施設内の居室における持ち込み物品の現況実測・観察調査 2) 研究対象者の属性のデータ(氏名、年齢、性別、入居年月日、介護度、<u>ADL、家族の有無とその近居/遠方、入居前の入院、入所状況、睡眠状態、離床時間</u>)の収集
⑨利用する者の範囲	新潟大学で利用いたします。 新潟大学工学部工学科 助教 宮内 杏里 新潟大学大学院自然科学研究科 博士前期課程 内許 博翔
⑩試料・情報の管理に ついて責任を有する者	新潟大学工学部工学科 助教 宮内 杏里
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学工学部建築学プログラム 氏名：宮内 杏里 Tel：025-262-7255 E-mail：miyauchi@eng.niigata-u.ac.jp